

平成16年度 岐阜県高等学校新人バスケットボール大会  
 兼 東海高等学校新人バスケットボール大会県予選会  
 最終日:平成17年2月6日(日)  
 会場:岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム

## 男子の部

&lt;審判&gt;

5位決定戦 中津川工 69  $\left[ \begin{array}{l} 11 - 18 \\ 23 - 17 \\ 19 - 6 \\ 16 - 20 \end{array} \right]$  61 斐太 後藤慎二・小野卓也

決勝リーグ 岐阜農林 109  $\left[ \begin{array}{l} 25 - 21 \\ 34 - 15 \\ 26 - 8 \\ 24 - 12 \end{array} \right]$  56 岐南工 大野貴司・角平和優

両チームとも2-3ゾーンディフェンスでスタートする。出だしお互いに硬さが見られたが、岐阜農林は寺内の3点シュート、三和のインサイドプレーで着実に加点。対する岐南工は相手のインサイドプレーを抑えきれずファウルを犯すが、オフェンス面では柴田が連続して得点し、一進一退の攻防となる。しかし、第2ピリオドにはいると、インサイドを攻めきれない岐南工はターンオーバーを連発する。高さで優る岐阜農林は、リバウンドを支配し確実に得点を重ね、23点のリードで前半を折り返す。

後半、岐南工はゾーンプレスをしかけリズムを変えようとするが、試合は岐阜農林ペースのまま。岐阜農林は寺内が3本連続で3点シュートを決めると、三和もリバウンドシュートを確実に決め、さらに差を広げていく。最後は岐阜農林が109-56と大差で岐南工を下し、決勝リーグ2勝目をあげた。岐南工は 簗島がインサイドで粘りを見せたが、相手の高い守りを崩すまでには至らなかった。(長谷川あゆみ)

決勝リーグ 岐阜総合 103  $\left[ \begin{array}{l} 26 - 19 \\ 29 - 19 \\ 30 - 19 \\ 18 - 16 \end{array} \right]$  73 美濃加茂 松野瑞穂・藤浪元明

岐阜総合はハーフから2-2-1のゾーンプレス、美濃加茂は1-2-1-1のオールコートプレスから2-3ゾーンでスタート。岐阜総合は美濃加茂のゾーンプレスに対し速い展開でボール運び、坂下のミドルシュートや3点シュートが効果的に決まって19-9とリードするが、チームファウルがかさんでリズムを崩す。美濃加茂は 楯の3点シュート、福井のゴール下での粘りで追い上げを図り、26-19と7点差まで詰め寄る。第2ピリオド出だし、両チームとも一歩も譲らない展開となる。しかし岐阜総合は相手のシュートミスに乗じて持ち前の速い展開に持ち込み得点へと結びつけ、55-38とリードして前半を終わる。

第3ピリオド、岐阜総合はスピードで美濃加茂を圧倒し、次々と得点をあげる。美濃加茂は 安藤の3点シュートで得点するが単発な攻撃に終わってしまう。第4ピリオドも岐阜総合の勢いは止まらず、杉本の速攻、新川のミドルシュートで点差を広げ、一試合最後まで走りきった岐阜総合が103-73で勝利し、決勝リーグ2勝目をあげた。(山田祐治)

決勝リーグ 岐阜総合 78  $\left[ \begin{array}{l} 18 - 19 \\ 16 - 14 \\ 12 - 23 \\ 32 - 4 \end{array} \right]$  60 岐阜農林 増田博徳・相宮俊郎

岐阜総合は3-2ゾーン、岐阜農林は2-1-2ゾーンでスタート。岐阜総合は 杉本の速攻や 坂下のドライブインなど速い展開で得点するのに対して、岐阜農林は 三和のリバウンドシュートやゴール下で得点し、互角の展開となる。第2ピリオド、岐阜総合は 桑原の速攻やゴール下シュート、坂下の速攻で得点するも、岐阜農林は 寺内の3点シュート、ドライブ、速攻と多彩な攻撃を見せ、三和がゴール下を頑張り、両チームとも譲らず、前半は34-33と岐阜総合が1点のリードで折り返す。

第3ピリオド、岐阜農林は 三和のゴール下、寺内の速攻、連続3点シュートで主導権を握り、5分に45-38とリードを奪う。その後岐阜農林はリズムよく攻め、10点のリードで最終ピリオドを迎える。第4ピリオド、岐阜総合は 坂下のミドルシュートや3点シュート、新川のドライブで4分には56-56の同点とする。その後も岐阜総合はゾーンディフェンスのプレッシャーを強め、リバウンドを奪うと 桑原や 杉本が速攻に走り、6分には6点のリードを奪う。流れに乗った岐阜総合の勢いは止まらず、たたみかけるように速攻に走り、最後は78-60として勝利をつかみ、岐阜地区予選の雪辱を果たすとともに、県新人大会での初優勝を飾った。(杉山広之)

決勝 リーグ	美濃加茂	85	$\begin{bmatrix} 25 - 9 \\ 27 - 27 \\ 11 - 31 \\ 22 - 12 \end{bmatrix}$	79	岐南工	小牧秀則・棚橋英一
-----------	------	----	---	----	-----	-----------

序盤は両チームとも思うように攻められずシュートが決まらない。美濃加茂はオールコートディフェンスからボールを奪うと、桂川の3点シュート、熊沢のシュートなどで先手を取る。岐南工はスクリーンアウト、リバウンドを頑張り、相手の高さに対抗するが、点に結びつかない。第1ピリオドは25-9と美濃加茂ペースで終了する。第2ピリオド、岐南工はディフェンスをオールコートに変え、大平の速攻、後藤の3点シュートで追いつける。さらに 簗島のインサイドプレー、柴田のドライブインで得点を伸ばす。美濃加茂も 桂川、高島の3点シュートで対抗し、互いに譲らない展開となる。前半は美濃加茂が第1ピリオドのリードを保ち、52-36で終わる。

第3ピリオド、岐南工が勢いに乗った攻めを見せ、後藤の3点シュート、柴田のシュート、簗島の1対1などで一気に逆転し、67-63と岐南工がリードして最終ピリオドを迎える。美濃加茂はディフェンスをオールコートに戻し、激しいチェックからボールを奪うと、桂川の3点シュート、楯のシュートで再逆転する。残り1分に岐南工は1点差まで詰め寄るものの、最後は美濃加茂 豊田が1対1からシュートを決めて相手を突き放し、両チームとも死力を尽くした試合に終止符を打った。(長屋 貴)

## 女子の部

< 審判 >

5位決定 戦	加茂	50	$\begin{bmatrix} 11 - 14 \\ 14 - 13 \\ 15 - 8 \\ 10 - 14 \end{bmatrix}$	49	関商工	三浦 潔・清水 潤
決勝 リーグ	岐阜女子	113	$\begin{bmatrix} 23 - 8 \\ 39 - 8 \\ 30 - 6 \\ 21 - 17 \end{bmatrix}$	39	高山西	下村勝彦・大江裕之

岐阜女子は2-2-1ゾーンプレスからマンツーマン、高山西は3-2ゾーンでスタート。出だしはお互いにディフェンスを頑張り一進一退の攻防となったが、岐阜女子はゾーンプレスからのインターセプトや、富崎と王のハイロープレーで得点。その後も安井のランニングプレーで一気に流れをつかんで得点を伸ばし、前半で62-16と大量リードを奪った。

後半の岐阜女子は主力を温存させるも、田中沙、田中優らが次々とシュートを決める。高山西も白川を中心に最後まで果敢に相手ゴールに襲いかかるが、及ばない。結局、高さで速さに優る岐阜女子が力の差を見せ、113-39と大差で勝利し、決勝リーグの2勝目をあげた。(長

決勝 リーグ	岐阜商	94	$\begin{bmatrix} 24 - 12 \\ 22 - 8 \\ 27 - 10 \\ 21 - 25 \end{bmatrix}$	55	多治見西	杉山広之・神山元秀
-----------	-----	----	---	----	------	-----------

両チームともハーフコートマンツーマンで始まる。岐阜商は激しいディフェンスで相手にプレッシャーをかけ、小倉の3点シュート、小野島のミドルシュートで得点。さらにディフェンスをオールコートに変えて相手のミスを誘い、小野島、高橋が積極的に走ってリードを広げる。多治見西も熊崎のミドルシュート、加藤の3点シュートなどで反撃するが、思うように攻められず。後半に入っても岐阜商は激しいディフェンスで相手につけている隙を見せず、柴田のポストプレーなどで得点を伸ばす。第4ピリオドは、主力を休ませる余裕の展開となった。結局一試合を通してディフェンスで相手にプレッシャーかけ続けた岐阜商が、安定した試合運びで勝利した。(山田祐治)

決勝 リーグ	岐阜女子	89	$\begin{bmatrix} 29 - 8 \\ 26 - 6 \\ 20 - 11 \\ 14 - 18 \end{bmatrix}$	43	岐阜商	室谷伸治・山田祐治
-----------	------	----	--	----	-----	-----------

両チームともハーフコートのマンツーマンディフェンスでスタート。岐阜女子は王、富崎がインサイドで安定した力を発揮し、ゴール下で得点を重ねる。対する岐阜商は柴田が2連続ゴールをあげるものの、岐阜女子の堅い守りを破りきれず得点を伸ばせない。第2ピリオドに入ると、岐阜商は3分間ノーゴールの状態が続く、その間岐阜女子はインサイドに加え服部が1対1で得点するなど一気に差を広げ、55-14と41点のリードで前半を折り返す。

後半に入っても流れは変わらず、岐阜女子はゴール下や合わせのプレー、3点シュートが確実に決まり、内角からも外角からも得点をあげていく。岐阜商は柴田のポストプレーや、長瀬、小野島の1対1で粘りを見せたが、相手の高いディフェンスを打ち破ることができない。最終的には89-43で岐阜女子が勝利し、決勝リーグ3戦全勝で15年連続16回目の優勝を決めた。(長谷川あゆみ)

決勝 リーグ	高山西	76	$\begin{bmatrix} 22 - 16 \\ 15 - 13 \\ 22 - 10 \\ 17 - 25 \end{bmatrix}$	64	多治見西	西脇勝己・長屋貴
-----------	-----	----	--	----	------	----------

高山西は1-2-2ゾーンプレスから3-2ゾーン、多治見西は1-1-3ゾーンでスタート。お互いに3点シュートを中心にアウトサイドからのシュートで加点する。高山西は白川を中心にオフェンスリバウンドに果敢に飛びつき、着実に得点を重ねてペースを握る。第2ピリオド、お互いディフェンスをマンツーマンに変え、プレッシャーを強める。多治見西がディフェンスで頑張り一時は2点差まで詰め寄るが、高山西は再びゾーンプレスに戻してスティールから連続得点をあげ、8点のリードで前半を終了した。

第3ピリオド、高山西はオフェンス、ディフェンスともにリバウンドを積極的に奪い、リズムに乗ったプレーで20点のリードを奪う。第4ピリオド、相手の追い上げに苦しみながらも、金子のシュートや、岩田の3点シュートでリードを守りきり、76-64で勝利を収めて第3位となり、東海大会の出場権を得た。多治見西も粘り強いディフェンスから熊崎を中心に必死に追い上げたが、あと一歩届かなかった。(清水 潤)